

学校の活動の様子を詳しくホームページに掲載しています。<http://www.school.umic.jp/nishiuchi/>（「西内小学校」で検索）ぜひご覧ください。スマートフォン、パソコンどちらからでもご覧いただけます。

学校だより No. 7

上田市立西内小学校



われら西内小学校



令和元年10月1日

学校へ行こう週間

西内小学校のことをもっと知ってもらうこと、地域の交流を深めることを目的として、9月9日（月）～13日（金）に学校へ行こう週間を開催しました。期間中たくさんの保護者、地域の皆様に学校に足を運んでいただき、充実した週間となりました。また、学校、PTA、学校運営協議会共催の週間でしたが、多くの方々にご協力・ご支援を頂戴しました。ありがとうございました。

テーマは「自然 文化 教育でつなぐ、つながる」でした。週間の様子を振り返ってみます。



9月9日（月） 1日目 「西内の自然と文化」

地区で採れた野菜や花、お菓子の販売をしていただきました。西内の自然や文化の恵みを楽しみ、味わう機会となりました。「鹿教湯まんじゅう三味食べくらべセット」「西内野菜100円市」「西内名産トルコキキョウ」と、地区の魅力を再確認することができました。また、野菜、お花の売り上げは、金管バンドの活動資金としてご寄付いただきました。ありがとうございました。ホオズキを提供していただき、休み時間には子どもたちが集まってきて、ホオズキ遊びを地域の方々といっしょに楽しみました。

お買い物の前後には、授業を見てもらい、西内小の教育への理解を深めていただきました。ありがとうございます。



9月10日（火） 2日目 「わいわい会議」

「みんなで子どもを育てよう 一家庭・学校・地域が連携してできること」をテーマに、上田市教育委員会：伴 美佐子さん、西内小地域コーディネーター：齋藤繁子さん、西内小：渡辺元子校長による三ババパネルディスカッションを行いました。三ババに加え、13名の皆さんにご参加いただき、参加型の会議によりみんなでわいわい話しました。

伴さんから他校の活動を紹介してもらい、事例としながら、西内小でもこんなことが出来るのではないか、また、こんなことが出来ている、さらに進めていきたいといった話がされました。学校と地域の連携について考える、今後の展望をもつ機会となりました。



9月11日（水） 3日目 「北信地方の文化」

お菓子等にはその地方独自の文化が反映されるといわれます。土地ごとにオリジナルのお菓子がありますね。飯山、小布施のお菓子屋さん等が販売をしました。「北信地方の文化」の催しは、北信地方の菓子文化等に親しむ機会となりました。

地区内で交流を深めることは大切ですし、また、他地域の文化に親しみながら、改めて自分の地域の文化を見直し、その特性やよさを感じることも大切なことでしょう。訪れたお菓子屋さんも、「すてきな造りの校舎ですね。明るい子どもたちですね。」との言葉を残してお帰りになりました。人、物の交流ができました。



9月11日（木） 4日目 「香港カフェ・ストレスマネジメント教室」

香港出身のALTビビアナ先生と、香港文化、日本文化を話題にお茶をいただきました。言語は日本語、英語両方が飛び交っていました。おやつは、さいとう工房さんにアップルパイ等を提供していただき、食べながら、飲みながらの国際交流となりました。終了後は、ビビアナ先生の外国語活動の授業に参加された方もいました。



「ストレスマネジメント教室」では、臨床心理士で県スクールカウンセラーの加藤梨沙先生にストレスを和らげるコツを教えてもらいました。シートに記入しながら、自己のストレス反応や思考のクセを振り返りながら、ストレス軽減の方法を考えていきました。話題は家庭や子育てのことにも及び、参加の皆さんが共感し合いながら話しているのが印象的でした。

9月12日（金） 5日目 「祖父母参観・交流会・金管発表」



学校へ行こう週間最終日は、祖父母参観日でした。たくさんのお祖父様、お祖母様、保護者の皆様にご来校いただき、学校がたいへん賑わいました。

祖父母参観の授業では、1・2年生は押し花を使った活動、3・4年生は段ボールを使った工作、5年生は俳句の発表、6年生はお茶請け作りをご覧いただきました。お祖父様、お祖母様に活動の様子を見てもらったり、共に活動したりして、うれしそうな子どもたちの顔が見られました。

交流会では、それぞれの学年の計画で、手紙を書き合う、カルタや双六をする、お茶会を開くといった活動がなされました。どの教室にも和やかで、温かい雰囲気が生まれました。

金管発表では、熱心に耳を傾けていただく祖父母の皆様の方に、一層熱を込めて演奏する金管バンドの子どもたちの姿がありました。最後の曲の演奏が終わっても拍手が鳴り止まず、アンコールの「聖者

の行進」は一層盛り上がりました。地域で、手作りで音楽を楽しむことができる西内小のよさが十分に発揮されたステージであったように思います。

授業に入ってもらいました



期間中、来校いただいた皆様には授業の様子を見ていただいたり、参加してもらったりしました。また、地域の歴史学習ということで、講話をいただいたりもしました。学校に行こう週間期間中、西内小学校は地域に開放され、開放的な雰囲気がいっぱい为学校であったように思います。子どもたちの学びを中心に据えながら、教育、文化、自然を通して人が行き交い、つながり合うことができました。地域の文化、交流拠点としての学校の姿があったように思います。今後も地域とともにある学校、地域に開かれた学校めざしていきます。保護者、地域の皆様にはこれからも学校に足を運んでいただき、学校も地域に出ていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

西内小の教育・・・

西内小学校は金管バンド・登り窯・なかよし班が、西内小教育の三本柱です。金管バンドは、各種コンクールで入賞し、登り窯では、毎年全員の子供が粘土作品をつくります。なかよし班では、異学年で活動しています。

全校児童は32名です。西内小学校では、小規模校だからこそできる教育というものがあるのではないかと考え、小規模であることの強みをいかした教育活動を追求しています。

少子化が進み、小規模校の増加が見込まれています。個への対応、地域連携、異年齢集団による活動といった小規模校教育の取り組みは、教育界全体が新しい時代にめざす理念を含んでいます。新しい時代に求められる課題からすると、先進的な内容であると考えています。

少人数学習指導

西内小学校は1・2年、3・4年が複式学級です。5、6年生も頻繁に合同授業を行っています。「教えてもらう授業から自ら学ぶ学習へ」を合言葉に、少人数学習により自立性・協働性を育てています。

異学年・異年齢集団の活動

西内小学校では、1年生から6年生がまじった、たてわり班活動を行っています。多様な構成メンバーによるかかわりで、コミュニケーション能力を育てています。

学校・地域の連携

西内小学校は、地域のひと・もの・ことを題材に教育活動を実施しています。また、学校支援ボランティアの活動も活発で、子どもと地域の大人が共に活動することも多いです。

学校へ行こう週間は、こういった学校のめざすところ、よさを改めてとらえ直す機会にもなりました。今後も地域の皆様と共に、西内小の教育をさらに進化、深化させていきたいと考えています。



憩いタイム，憩いボランティア

学校へ行く週間て充実した学校・地域連携の流れを、「憩いボランティア」につないでいきます。

募集をしたところ、たくさんの方に応募いただきました。ありがとうございます。

第2，第4水曜日の休み時間，ボランティアさんにボランティアルーム（第2学習室）にいてもらいます。いっしょに遊びたいとき，ちょっと疲れたとき，お話ししたいとき，子どもたちにはボランティアルームを訪れてほしいです。ほっと一息つきましょ。ボランティアさんには子どもと触れ合うこと，子どもといっしょにいることを楽しんでもらえればと思います。ボランティアさんとの「憩いタイム」です。第1回が9月25日（水）に行われました。



憩いボランティアがどのように進行していくか，またお伝えしていきます。

11月の予定

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3 文化の日
4 振替休日	5 なかよし旬間 (～15日)	6 校長講話	7 授業参観日 講演会 短縮日課 学級PTA 学校評議員会②	8	9	10
11	12	13 6年こころの 劇場	14	15	16	17
18 あいさつデー	19	20 ドリーム集会	21 来入児検査	22 クラブ反省会	23 勤労感謝の日	24
25 読書旬間(～12/7)メディアコントロール週間(～30日)	26	27 短縮日課4時間授業	28	29	30	

- ・なかよし旬間は，友達とのかかわりを振り返りながら，人権意識を高める期間にしています。
- ・学習活動に落ち着いて，力を入れて取り組める時期です。実りの秋としたいですね。

学校では不祥事根絶に向け，服務規律の遵守に努めていくように，非違行為防止研修を実施しています。

西内小クイズ

9月に，学校の玄関に飾られていた花の名前は何でしょう。

- ① バラ ② リンドウ ③ トルコキキョウ



西内地区の花栽培農家さんでは，リンドウに加え，出荷量が増えてきている花です。名前に使われ，「トルコ」は，花の色がトルコを思わせる，花の形がトルコのターバンに似ている等語源があるそうです。学校玄関の花は高梨の小宮山正治さんにいただきました。きれいです。(答え③)